



No. 123 (平成28年7月1日)

お も な 内 容

	ページ
随 想	1
研修講座寸描	2・3
夏季研修講座一覧	3
研究室だより	4
研究協力校の紹介	5
教育講演会, Web サイト紹介, 研究員・研究協力校の授業紹介	6
受講後アンケートの結果・ 出前講座の紹介	7
心に残る授業 その④・人事短信	8

東明中学校の総合的な学習の時間では、「自分で作るお弁当の日」に取り組んでいます。各学年のテーマに沿ったお弁当作りを実践し、食の重要性を学びながら仲間と楽しく食事をします。(旭川市立東明中学校)

随 想

開きホッケが十円で
三枚買えた時代に学ぶ

上川教育研修センター

所 長 小 谷 要 次



町内会の役員を引き受けるようになってから、地域の教育力について考える機会が増えたような気がします。少し前になりますが、文部科学省が実施した「地域の教育力に関する実態調査」の中で、子育てに携わっている保護者の多くが、自分の子ども時代と比較すると地域の教育力は低下していると回答しています。私も同感する一人です。

私は赤平市の生まれです。赤平といえますと御承知のとおり石炭産業とともに発展し、一九五〇年代には鉱業都市として最盛期を迎えた市です。この時代に十人兄弟の末っ子として産声をあげたのですが、私が生まれた時には、すでに上から四人までの兄弟が他界していました。私にとっては実質六人兄弟ということになります。私が赤平市で生活していたのは八歳まででしたが、住友赤平炭鉱は景気が良く、街は活気に満ちあふれ、その頃の住友赤平小学校は、一つの学級に五十人ほどの児童が授業を受けており、各学年十学級ずつあったと記憶しています。そして、この時代の魚屋さんでは、十円で手のひらサイズの開きホッケが三枚も買うことができたのです。私は学校から帰ると母親から十円を渡され「開きホッケを買っておいで」と、使に行かされたものです。

さて、この時代の記憶をたどってみますと、炭鉱の町独特の近所付き合いが盛んなこと、そして、人の悪口などは言わない住民の温かさを思い出すのです。この記憶には、後になって兄弟から聞か

れていたことも影響していると思うのですが、隣近所の人たちが助け合い、協働して生きている姿を子ども心に見ていたのだと思います。特に、隣家に住む四歳年上のお兄さんが私の先生でした。魚釣りや野鳥の観察、ビー玉やめんこの遊び、小動物の飼い方など多くのことを教えてくれました。自然と触れ合う体験活動が十分過ぎるほどあったのです。そして、悪事を働くとは、何処からともなく怖いおじさんが現れて本気で叱ってくれます。「二度としません」と謝っている自分がいきました。

現在ではものがあふれ、便利さが追究され、価値観が多様化し、そして、人間関係が希薄化する中であって、先の時代に見られるような地域の教育力は影を潜めています。一方で学習指導要領改訂の方角性が明らかに変わってきた学校教育では、変化する社会の動きを取り込み、世の中と結びついた授業を通じて、子どもたちに人生を前向きに考えさせていくことが求められています。私は、今こそ、学校・家庭・地域が力を合わせ社会全体で子どもを育むことが急務であると考えています。とりわけ、昔を懐かしむだけではなく、過去に学び、子どもたちのために何ができるのか。学校にどのような協力ができるのか。教育に関係する者として、また、町内会の一役員として、自然体験や住民同士が触れ合う事業の展開など、地域の教育力の向上に向けた環境整備に尽力できないものかと考える昨今なのです。

本校では毎年六月中旬に、全校児童で花壇づくりをしています。そこでは、町内にある剣淵高校の生徒さんに講師になってもらい、花の植え方や世話の仕方を学びます。最後には育てた花を押し花にしてお礼の手紙を高校生の皆さんに贈ります。(剣淵町立剣淵小学校)



センタ－日誌

4月1日	新任所員就任
4月14日	研修講座講師委嘱状交付式
4月15日	講座内容研究協議会
4月22日	講座受講申込一次締切り
5月10日	パソコン講座運営委員会
5月10日	研修講座開始
6月13日	パソコン講座開始 (いじめ・不登校)
7月1日	センターだより第123号発行
※ 毎週火曜日	定例研究室会議
※ 随時	研修講座講師打合せ会議

研修講座 寸描 その1

委嘱状交付式、 講座内容研究協議会



四月十四日、二十九講座の講師六五名の出席をいただき、今年度の研修講座の講師委嘱状交付及び講座内容研究協議会を実施いたしました。

上川教育局、旭川市教育委員会の方々が列席される中、センター組合小池語朗教育長から、岩田俊二北星中学校長が講師を代表して委嘱状を受け取りました。

その後の講座内容研究協議会では、教職全般を通じた教職員等の資質能力の総合的な向上を目指して、講座内容や日程等について具体的な話合いが行われました。

五月十日の「いじめ・不登校」研修講座を皮切りに、今年度の研修講座がスタートしています。

講座の様子から

不登校についての今日的な課題や実態また多くの事例を通して、不登校のタイプ別の実践的な指導方法を学ぶことができました。大変実用的な内容であり、早速、今後の実践に生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

(旭川市立北星中学校 本保 敦理)



1 いじめ・不登校 5/10

青山理加子 (啓北中 教諭)
古谷 齊 (永山中 教諭)

講師

2 特別支援教育 5/11

講師

沓澤 整治 北海道立特別支援教育センター
津越 由希 北海道的特別支援教育課 視覚障がい教育室 研究員
佐野 亜湖 (西御料地小 教諭)
二川原朱美 (広陵中 教諭)

特別支援教育に関する最近の動向を踏まえ、障がい特性に応じた指導の工夫や教材教具も、具体的に教えていただきました。明日からの指導にすぐ生かせる内容に意欲がかき立てられました。ありがとうございました。

(旭川市立東光小学校 森田まゆみ)



3 学級経営 5/12

進藤 河石與
藤 治持板

貴宣英博
史人世志
(旭)(東
明)(神
星)(楽
中)(岡
小)

教教教
諭諭諭
(論)(論)(頭)

講師



児童との信頼関係の作り方、児童の自己肯定感を高め、個を育てる授業づくり、集団を育てるための工夫など、明日からの指導にすぐ生かしたい有意義な研修でした。具体的にわかりやすく御指導いただき、ありがとうございました。
(幌加内町立幌加内小学校 鹿島 菜子)

夏季休業を利用して研修を深めませんか？

夏季休業中及び夏季休業直後の研修講座申込みを随時受け付けております。

希望される場合は当研修センター（０１６６－２４－２５０１）に御連絡ください。

開催期日	研修講座名	会場	備考
7月26日（火）	国語科指導①	研修センター	2回目 9月6日
7月26日（火）	幼小連携教育	研修センター	
7月27日（水）	算数・数学科指導①	研修センター	2回目 8月31日
7月27日（水）	外国語科（英語）指導①	研修センター	2回目 9月1日
7月28日（木）	道德教育①	研修センター	2回目 8月30日
8月1日（月）	表計算入門（個別）	研修センター	パソコン講座
8月1・2日（月・火）	学校事務実務	研修センター	2日間日程
8月2日（火）	理科指導①	研修センター	2回目 8月30日
8月2日（火）	タブレットPC入門②	研修センター	パソコン講座
8月3日（水）	学校力向上対策	研修センター	第15次新設講座
8月3日（水）	生徒指導①	研修センター	2回目 9月7日
8月4日（木）	社会科指導①	研修センター	2回目 10月7日
8月4日（木）	生活科・総合的な学習の時間①	研修センター	2回目 10月12日
8月5日（金）	表計算活用①	研修センター	パソコン講座
8月8日（月）	タブレットPC活用①	研修センター	パソコン講座
8月9日（火）	教育講演会	大雪クリスタルホール	本誌6ページ参照

～夏休み終了直後に行われる研修講座～

8月24日（水）	I C T活用	北門中／研修センター	旧「指導技術基礎」講座
8月24日（水）	技術・家庭科実技	旭川第3小	今年度は小学校の授業公開
8月25日（木）	学級活動	東陽中	今年度は中学校の授業公開
8月29日（月）	プレゼンテーション	研修センター	パソコン講座
8月30日（火）	道德教育②	神居東小／永山南中	
8月30日（火）	理科指導②	愛宕東小／明星中	
8月31日（水）	算数・数学科指導②	永山南小／春光台中	
9月1日（木）	外国語科（英語）指導②	春光小／六合中	
9月6日（火）	国語科指導②	東光小／忠和中	
9月7日（水）	生徒指導②	神居中／新町小	
9月7日（水）	校内研修	大町小	

今，研究室では…

第16次研究の3年次がスタート！

研究主題

学び合いで確かな学力を育てる学習指導の在り方
～思考力・判断力・表現力を育む指導と評価～

1 年 次

「3段階の言語活動（個人思考・集団思考・思考のまとめ）」を意図的・計画的に設定し，教科の特性を生かした言語活動の充実を目指しました。

2 年 次

詳しくは研究紀要40号・41号を御覧ください。

「思考の明確化＝児童生徒に何を考えさせるのか？そのための手立ては何か？」を図り，「3段階の言語活動」の更なる充実を目指しました。

「学び合い」の更なる充実を目指し…！

3 年 次

対話による思考の共有化

条件 1

話し合いの目的や
明確なゴールの設定

- ・教科の特性に応じた手立て
- ・論点を明らかにした
言語活動の精選

など

条件 2

互いの考え方の理解と
違いの見える化を促す工夫

- ・板書の構造化
- ・ICTの活用
- ・発問の精選
- ・話し方の指導

など

条件 3

集団思考に最適な場の設定

- ・グループ編成
(人数・目的別・方法別など)
- ・時間管理

など

7/7(木)

センター所員研究授業

9/16(金)

研究員 2 年目
鷹栖町立
鷹栖中学校
齊藤 悦代



中学 2 年 英語科 「ミニ英語新聞をつくろう！」

学習課題を「読み手に正しく伝わるように，自分の予定や経験をまとめよう。」と設定し，対話を通してよりよい表現の工夫について考えていきます。

研究員 1 年目
旭川市立
大有小学校
馬場 大輔



小学 1 年 算数科 ※単元内容は未定です

低学年算数科における，「3段階の言語活動（個人思考・集団思考・思考のまとめ）」の在り方を提案します。特に，集団思考場面における「対話による思考の共有化」を目指します。

平成28年度「研究協力校の紹介」

旭川市立北鎮小学校

〔研究主題〕

「確かな学力」を身に付け、かわり合いの中で
「算数科における 問題解決的学習を通して」

一 研究の重点

算数科における問題解決的学習を通して、内容の定着化を図る方向性を明確にし、価値ある思考を生む問題の吟味と表現力の向上を図る集団解決の場の設定により、「確かな学力」を身に付け、かわり合いの中で共にのびる子どもを育成する。

二 研究の内容

- ①内容の定着化を図る学習の方向の明確化
- ②価値ある思考を生む問題の吟味
- ③表現力の向上を図る集団解決の想定

三 研究の計画

2月 研究内容・研究計画の共通理解
4・5月 ブロック研 指導案検討・校内授業
6・7月 研・事後研究協議
8・9月 ブロック研及び全校研 指導案検討・事後研究協議
10月 全道算数科研プレ研・全校研 指導案検討
11月 全校研 事後研究協議・各ブロックのまとめ
成果と課題、次年度の方向性について



当麻町立当麻小学校

〔研究主題〕

かわり合って高まる子を目指して
「よく聞き、よく考え、よく話す」
主体的に学ぶ授業づくりを通して」

一 研究の重点

子ども全員が意欲的に授業に参加し、かわり合いながら、学習意欲を高められる姿を目指す。また、子どもが先の見通しをもつことで、自ら学びを進められる姿を目指す。

二 研究の内容

- ・話し合いが高まるための板書や発問
- ・子どもも教師も取り組みやすい学習過程・学習ルール
- ・「当小スタイル」の実践と検証

三 研究の計画

4・5月 研究内容・研究計画の共通理解
「当小スタイル」について考える授業実践
5・9月 指導案検討・校内授業研（第1期）
10・11月 指導案検討・校内授業研（第2期）
11月下旬 授業実践発表会（公開授業：4学級公開予定）
12・3月 研究の振り返り・次年度に向けて
3月初旬 特別支援等に関する研修会



旭川市立西神楽中学校

〔研究主題〕

「確かな学力」の定着を図る学習指導の工夫
「学び合い高め合う授業づくりを通して」

一 研究の重点

「学び合い」の授業を構築することや、他者と積極的にかわり自らの考えを深める「高め合う」学習を展開することにより、「思考力・判断力・表現力」を養い「確かな学力」の定着を図る。

二 研究の内容

- 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と、主体的に学ぶ態度を育む学習展開の工夫
- 他者に的確に分かりやすく伝えたり表現する「学び合い」の学習展開の工夫
- 他者と積極的にかわりながら「高め合う」学習 指導の工夫

三 研究の計画

4・5月 研究内容・研究計画の共通理解
6・9月 授業交流・研究授業構想・指導案検討
10月 校内授業研
11・12月 授業交流
1月 研究の振り返り
2月 研究のまとめ 次年度の研究推進



上川教育研修センター

教育講演会の御案内

- ・と き 8月9日(火) 13:30～16:30
 ・ところ 旭川市大雪クリスタルホール 大会議室(旭川市神楽3条7丁目)



演 題

「学ぶ教師 成長する学校」
 ～教育改革を展望しつつ～

講 師

千葉大学 教育学部 教授
 天 笠 茂 氏

〈講師紹介〉

- ・1950年東京都生まれ
- ・筑波大学大学院教育学研究科博士課程単位修得
- ・現在、千葉大学教育学部教授
- ・文部科学省教育研究企画協力者会議委員
- ・文部科学省教育研究開発企画評価協力者会議委員
- ・中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会臨時委員
- ・学校の第三者評価のガイドラインの策定等に関する調査研究協力者会議座長

〔主な著書〕

- ・「学校経営の戦略と手法」
- ・「小中一貫教育のマネジメント」
- ・「学校管理職の経営課題(全5巻)」ほか多数

教育界には課題が山積しております。ぜひ「教育講演会」に御参加いただき、お一人お一人が抱える課題の解決に努めていただければと考えております。多数の皆様の御参加をお待ちしております。

なお、申込みは、当研修センターあてFAX(0166-24-2512)でお願いします。

上川教育研修センター

研修センターの Web サイトを御利用ください！

<http://kami-cen.hs.plala.or.jp/>

今年度の講座一覧や要項・申込書等がダウンロードできます。また、過去に開催された講座の様子やセンターだよりのバックナンバーを見ることが出来ます。さらに、センターで所蔵している資料を見ることが出来るので、お探しの資料があれば貸出することも出来ます。

ぜひ、御活用ください。



研究員・研究協力校の授業があります！

まとめの3年次は

対話による思考の共有化がキーワード

今年も下記の5実践を予定。いずれも授業参観、研究協議に参加できます。授業づくり、校内研究づくりについて一緒に考えませんか？

①7月7日(木) 中2英語科	鷹栖町立鷹栖中学校	齊藤 悦代	研究員
②9月16日(金) 小1算数科	旭川市立大有小学校	馬場 大輔	研究員
③9月30日(金) 小2国語科	当麻町立当麻小学校	高田 裕輔	教諭
④10月27日(木) 小2算数科	旭川市立北鎮小学校	松尾 留実	教諭
⑤11月10日(木) 中1保健体育科	旭川市立西神楽中学校	五十嵐 敬	教諭

お問い合わせは

上川教育研修センター研究室

旭川市6条通4丁目
 (0166-24-2501)

研究員は火曜日午後に勤務しています。お急ぎの場合は最寄りの研究員まで！

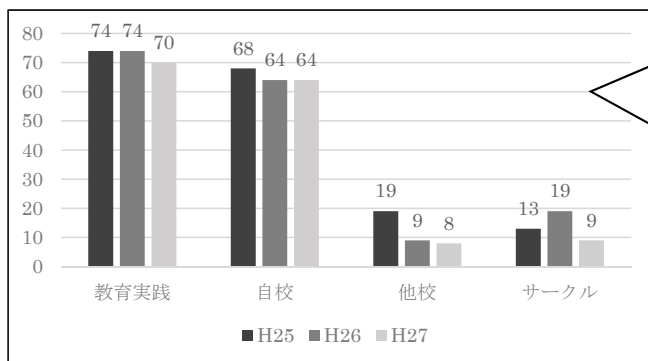
＜研究員＞

小田島(東神楽小) 齊藤(鷹栖中)
 竹中(旭川第3小) 馬場(大有小)
 川村(神居東小) 遠藤(永山中)

平成 27 年度受講後アンケートの集計結果 ～御協力ありがとうございました～

研修講座の受講後2～3か月をめどに御回答いただく「受講後アンケート」を実施しております。お忙しい中にもかかわらず御協力をいただきまして、ありがとうございました。昨年度の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

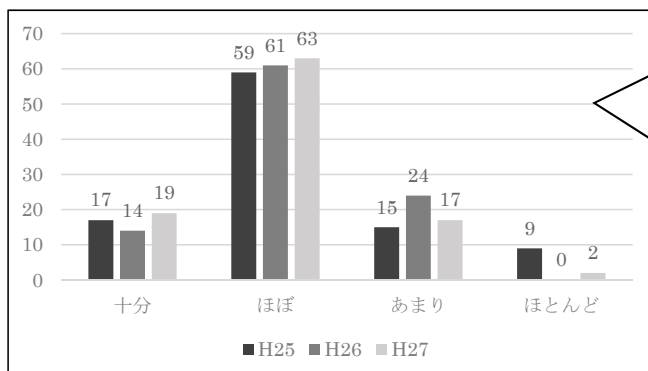
設問1 研修終了後、児童生徒や同僚教職員、他の学校の教職員等に研修成果を発信することができましたか。



日常の児童生徒への指導・援助、自校の教職員への情報発信など、6割以上の受講者に研修の成果を感じていただいていることがわかりました。

今後も児童生徒とのかかわりや周囲の教職員との交流が深まるよう、最新の情報を提供する講座をめざして努力いたします。

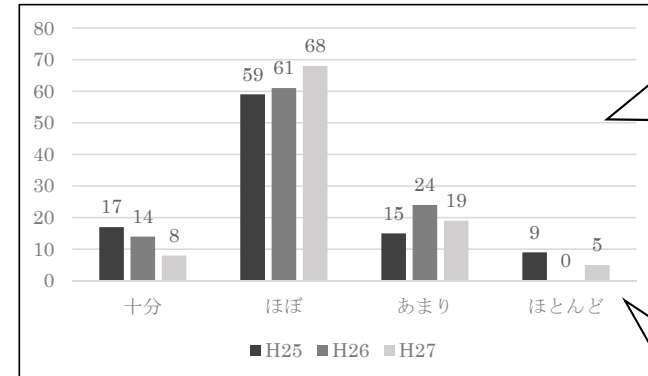
設問2 研修終了後、自校や校外研修会等で、研修内容を活用し、自己の指導内容や方法の工夫改善ができましたか。



「十分にみられた」「ほぼみられた」を合わせると、82%の受講者から自己の指導内容や方法の工夫改善ができたという回答をいただきました。

問題提示や授業形態の工夫、児童の主体的な考えを取り入れた授業改善など、具体的な工夫や改善策の記述が見られました。日常の実践にすぐに生かすことができる講座内容となるよう努力いたします。

設問3 研修内容を広げたり活用したりした結果、児童生徒や対象の教職員に効果や変容が見られましたか。



教職員間での共通理解・実践により、児童生徒の学習意欲・効率の向上、教職員間の連携につながった、という内容の記述が見られました。自他の効果的なかわりを見いだすことができる講座内容となるよう努力いたします。

24%の受講者から「あまりみられなかった」「ほとんどみられなかった」という回答をいただきました。

「変容を見るには、もう少し時間が必要」「情報の発信のみで、具体的な活動ができなかった」など、今後の継続的な取組に期待する記述が見られました。

本年度も「受講後アンケート」を実施いたします。受講後2～3か月をめどに、当研修センターWebサイト上で、御回答ください。パソコンはもちろん、タブレットや携帯端末からも御回答いただけます。

今年度も御協力をよろしくお願いいたします。

「出前講座」の申込み、お待ちしております！

教科指導をはじめ、生徒指導・特別支援教育・今日的な教育課題・パソコン実技・各種実技指導など、各学校の校内研修や研究団体の様々なニーズに応えるべく、選りすぐりの講師を派遣しています。時間や距離等の都合で、普段、研修に参加できないときに、是非、御活用ください。上川管内のどんな地域へも伺います。

申込みは、随時受付けております。「研修講座開催要項」P30に掲載しております「出前講座申込書」に必要事項を御記入の上、当研修センターへFAX（0166-24-2512）でお申込みください。

心に残る授業
その⑦旭川市教育委員会
教育指導課主査
白石 真

実践研究発表会において、特別支援学級の授業を参観させていただく機会が年々多くなりました。様々な児童生徒の実態がある中で、多くの先生方の前に授業を行うことは簡単なことではありません。

ある小学校の実践研究発表会で、知的障害学級と自閉症・情緒障害学級の授業を参観させていただきました。

知的障害学級の授業は国語で、片仮名の学習でした。授業が始まる前の休み時間、先生と子どもたちが楽しそうに会話をしています。教室には、参観される先生もたくさんいましたが、授業者の先生方は子どもたちが緊張しないように、いつも以上に優しい言葉がけに気を付けていたように見えました。授業が始まると、今日の学習で何を

学ぶかの見通しを持たせるため、課題を言葉だけではなく、板書で分かりやすくしたり、児童の実態が異なるため、一人一人に併せて指示を工夫したりするなど、児童が不安になることなく意欲的に学習する姿が見られました。

自閉症・情緒障害学級では、自立活動の時間で、児童同士がお互いに協力しながら課題に取り組むことを通して、人間関係の形成やコミュニケーションスキルを高めることを目標とした授業でした。

授業者の先生の児童との関わり方、ICTの活用を通して、課題に対する意欲を高めることで、児童が主体的に課題に対して取り組む姿が見られました。

いずれの授業も、児童一人一人が笑顔で意欲的に授業に参加している姿が非常に印象的でした。また、今日の授業で学んだことが次の時間につながることを意識し、丁寧に指導していた先生方のチーム力も素晴らしいと感じました。

改めて子どもの実態に応じて、必要な支援を進めることの大切さを、この授業参観から学びました。

人事短信

新任



副所長 奥山ゆみ子
各校の研究や実践に活用される講座内容や研究となるよう、所員一同努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。



研究員(皇少)石ヶ森孝順
今求められる授業づくりの基本的な事項が分かりやすく整理された研究を目標とします。どうぞよろしくお願いたします。



指導員(神楽小)三上 大輔
参加された皆様にとつて、有意義な研修講座になるよう心掛け、努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



研究員(大有小)馬場 大輔
管内の各学校で活用できるように研究となるよう精一杯努力してまいります。どうぞ、よろしくお願いたします。



研究員(永山中)遠藤 聡志
上川管内の皆様を活用いただける研究になるよう努力してまいります。どうぞ、よろしくお願いたします。

訃報

昨年度末、武山昌裕前研究事業部長が急逝されました。
当研修センターの事業に御尽力いただいたことに感謝の念を表すとともに、武山昌裕先生の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

平成二十八年度就任・退任研修センター所員を紹介します。
退任 お世話になりました

- ・前 所 長 矢口 元晴
- ・前研究事業部長 武山 昌裕 (旭川市立愛宕東小)
- ・前 指 導 員 森 木 真也 (旭川市立大有小)
- ・前 指 導 員 清 杉 陽一 (旭川市立緑が丘小)
- ・前 指 導 員 青 木 賢二 (旭川市立明星中)

○研修センター所員

- 所 長 小谷 要次
- 副 所 長 奥山 ゆみ子
- 事 務 部 長 佐藤 美恵子
- 事 務 係 小林 晴美
- 事 務 係 笹谷 青子
- 指 導 員 村田 靖彦 (愛宕中)
- 指 導 員 佐々木 玲 (北光小)
- 指 導 員 増子 淳一 (東町小)
- 指 導 員 三上 大輔 (神楽小)
- 研究事業部長 石ヶ森孝順 (日章小)
- 研究員 小田島充彦 (東神楽小)
- 研究員 竹中 一三 (旭川第三小)
- 研究員 齊藤 悦代 (鷹栖中)
- 研究員 川村 貴弘 (神居東小)
- 研究員 馬場 大輔 (大有小)
- 研究員 遠藤 聡志 (永山中)

発行日 平成二十八年七月一日
上川教育研修センター
〒070-0036
旭川市六条通四丁目

責任者 小谷 要次
印刷所 東信印刷株式会社
電話(011-241-2501)

※この用紙は再生紙(古紙70%)を使用しています。